

TV JUMPER for CAN

TV-NAVI JUMPER for CAN

取扱説明書

この度は、BLITZ『TV JUMPER for CAN』ならびに、『TV-NAVI JUMPER for CAN』をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。ご使用になる前に必ず本取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用下さい。使用方法や諸注意に関しては、本取扱説明書をよくお読みになった上で、正しい使用方法でご使用をお願いします。

注 本製品は日本国内専用設計です。詳しくは、本取扱説明書「ご使用上の注意事項」をご覧ください。

重 本製品には、保証書が同梱されています。必ずカスタマー登録を行なってください。カスタマー登録されませんと、保証が無効になる場合がありますのでご注意ください。詳しくは、保証書をご覧ください。

重 取り付けや車種別の注意事項は、「車種別取付説明書」をよくお読みになった上で、ご使用下さい。

注意記号

危	この表示を無視して誤ったご使用をすると、身体や財産に重大な被害が発生する可能性が想定される内容であることを示しています。
警	この表示を無視して誤ったご使用をすると、法律に違反する可能性が想定される内容であることを示しています。
注	この表示を無視して誤って取り付けをすると、人が怪我を負う、もしくは、車及び製品の破損・故障といった物的損害の発生が想定される内容であることを示しています。
重	本製品を使用する上で知っておいていただきたい事を示しています。

動作上の注意事項（必ずお読み下さい）

重	目的地設定後、ルートガイダンスをご利用の場合は、必ずTVまたは、ノーマルモードにしてからご利用下さい。
重	お取り付けする機種によっては、車両メンテナンス機能が正常に動かなくなる（表示に誤差を生じる）場合がありますが故障ではありません。
重	車種（アイテム）によってスイッチをオンにした時から、ナビゲーションの自車位置が狂うことがありますが、スイッチをオフにし、しばらくすると正常動作に戻ります。

製品内容一覧

CAN 本体・・・1



※本体のデザインが写真と異なる場合があります。※デザインは予告無く変更する場合があります。

コンパクトスイッチ・・・1



ノーマル復帰コネクタ・・・1



車種別接続ハーネス・・・1



※製品によりコネクタ形状が写真と異なります。

本体固定用両面テープ・・・1

取付・取扱説明書・・・1

保証書・・・1

ご使用上の注意事項（必ずお読み下さい）

危	本製品は運転者以外の同乗者が、走行中のテレビ視聴やナビゲーションの目的地設定をする為に開発された製品です。運転者は運転中絶対にテレビを見ないで下さい。また、ナビゲーションの操作及び目的地設定等も行わないで下さい。
警	運転者は走行中にモニター画面に表示された画像を注視すると安全運転義務違反となりますので、絶対に注視しないで下さい。また、同乗者がいない場合に走行中テレビを映していると、安全運転義務違反となりますので、走行中は絶対にテレビを映さないで下さい。
重	テレビを見ながら走行中にナビゲーションの地図画面へ切り替えると、車両の現在位置と地図上の自車位置にずれが生じる場合があります。
重	走行中は電波の受信状況が悪くなる為、停車時に比べてテレビの映りが悪くなります。
重	走行時に TV を表示させない場合は、車両側の操作スイッチにより電源の OFF が、ナビ画面に切り替えて下さい。もしくは、本製品を取り外し、ノーマル復帰コネクタを取り付けて下さい。
重	本製品を取り付けても走行中に TV を見たり、ナビを操作したりすることを可能にする以外の機能はありません。
重	本製品を使用して発生した事故・違反行為・車両の故障または損害等の責任は一切負いかねますので、ご了承下さい。
注	本製品は日本国内のみで使用が可能です。万が一、適合車種に取り付けていた場合でも日本国外で使用された場合は、保証の対象外になります。また、適合車種以外に取り付けた場合も保証の対象外になります。
注	車検や点検などでディーラーや販売店・修理店などへ入庫する場合は、コネクタから一旦本体を取り外し、接続ハーネスコネクタに本製品付属のノーマル復帰コネクタを取り付けて下さい。

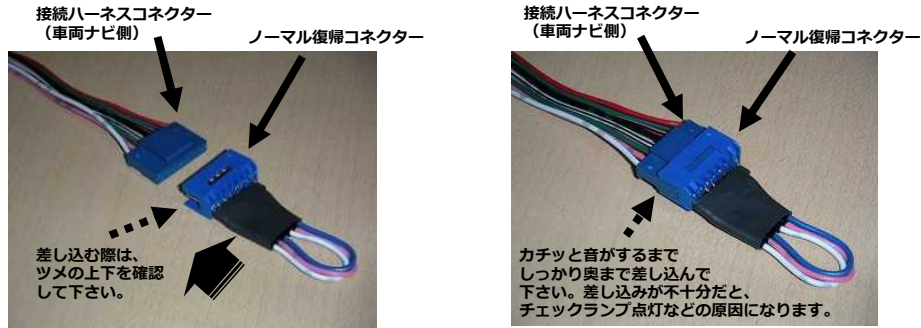
取り付け上の注意事項（必ずお読み下さい）

注	取り付けの際は必ず安全な場所でエンジンを停止させ、5分以上経過してからバッテリーのマイナス端子を外し作業を行なって下さい。また、オーディオや時計機能などのメモリー内容が消えてしまうので、あらかじめメモを取るなどをして下さい。
注	車両内装のパネル及び部品等を外す場合は、破損・汚損及びネジ等の紛失には十分に注意して作業を行なって下さい。
注	コネクタを外す際は、コネクタのロックピンをしっかりと押さえて、まっすぐ引き抜いて下さい。無理に引っ張ると、車両側ハーネス及びコネクタ、ナビユニット側コネクタピン及び基盤等が破損や、断線する恐れがあります。
注	ハーネスの接続はコネクタがカチッと音がするまでしっかりと差し込み、接続不良を起こさないように注意して下さい。
注	本製品は車両側の適切な場所へ両面テープ（製品付属）やタイラップ等で固定して下さい。固定しないと接触不良を起こしたり、断線の原因になる恐れがあります。
注	取り付けの際は、シートベルト、ペダル類、ドアなどの可動部にハーネス類や本体を挟み込んだり、また挟まれる可能性がある場所には、設置しないで下さい。製品の破損や断線による事故、火災、感電等の恐れがあり危険です。
危	取り付け終了後走行を伴う動作テスト等を行なう際は、必ず助手席に人を乗せ、助手席の方が動作テスト作業を行ない、運転手はモニターを注視しないで下さい。
注	車種・アイテムによってアース線の接続を必要とする場合は、アースが不十分だと本製品は正常に動作いたしません。確実にアースを取るようして下さい。
重	本取扱説明書に取り外し要領が記載されていない車両の作業を行なう際は、あらかじめその車両の内装脱着要領の資料を入手し、養生等をしっかりと慎重に行なって下さい。

スイッチについて（必ずお読み下さい）

注	エンジンを切り、キーをロックしてしばらくは車両との通信が行なわれていますが、車両との通信が終了（OFFモード）時は、スイッチは自動で消灯します。※車種によっては消灯するまでの時間が長い場合があります。
注	OFFスタートモードの場合、スイッチが淡く点灯（ノーマル状態）ではノーマルと同じ状態ですのでテレビの視聴や、ナビの目的地設定もできません。また、エンジンを切り再度エンジンを始動した場合は必ずノーマルモード（淡く点灯）に戻ります。
注	スイッチを本体へ接続しなければ、走行中にテレビを観たりナビの目的地設定をする事が出来ません。
注	テレビを見ながら走行中に地図画面へ切り替えると、車両の現在位置と地図上の自車位置にずれが生じる場合があります。その場合は、スイッチを OFF 状態にしてしばらく走行して下さい。GPS を受信して自動的に補正され正規の自車位置へ復帰します。停車中や屋根がある場所では GPS をうまく受信できず補正されないので必ず屋外を走行して下さい。
注	車種（アイテム）によってスイッチを操作し、ナビモードで目的地設定をする際、モニター上の地図では自車位置がその場で固定され走行中の正規の現在地に対してズレが生じます。その際は、ノーマルモード（淡く点灯）または TV モード（点灯）に切り替えて走行をすれば、正規の現在位置へ自動修正されます。
注	車種（アイテム）によってナビモードで設定が完了後は速やかにノーマルモード、または TV モードへ切り替えて下さい。ただし、手動で切り替えが行なわれない場合でも約 5 分後には自動で TV モードへ復帰します。

ノーマル復帰コネクタについて



注

ディーラーなどの販売店や修理店などによっては、本製品を取り付けた状態では、車両の保証や点検が受けられない場合があります。
点検等に出す場合は、一旦本体を取り外し、接続ハーネスコネクタに本製品付属のノーマル復帰コネクタを取り付けて下さい。

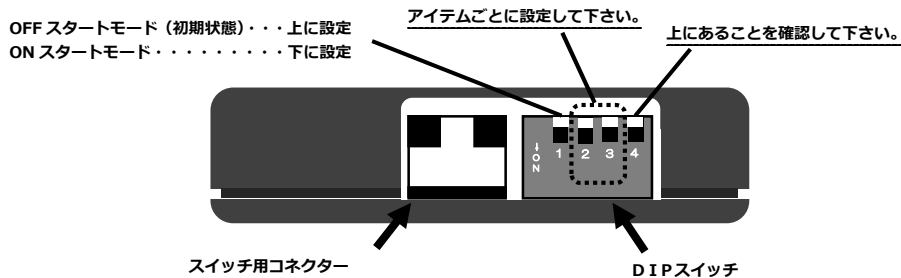
※車種によって異なりますが、作業を行なう際は、エンジンを切りスマートエントリーシステムなどの場合は、キーを認識しない場所から作業を行なってください。車両側がキーを認識して自動的に電源が入り感電や、車両・ナビユニットが故障する原因になります。(キーの認識範囲は、車種、メーカーによって異なるので、各車両の取扱説明書をご確認ください。)

※ノーマル復帰コネクタを取り付ける事によってノーマル配線と同じ状態になります。

重

再び本製品を取り付ける際は、上記手順と同じ順序で取り付け作業を行なって下さい。
ノーマル復帰コネクタを使用しないときは、必ず本取扱説明書と一緒に保管して下さい。

DIPスイッチについて



注

※DIPスイッチ位置は車種別に設定されていますので、詳しくは取付説明書をご覧ください。
※一番右側(4番)のつまみがOFF(上側)になっている事を必ず確認して下さい。
※DIPスイッチを操作する際は、TV JUMPER 本体を車両から外すか、エンジンを切ってナビの電源が消えたことを確認してから作業を行なって下さい。

OFF (上)



OFFスタートモード：エンジン始動時はノーマルモード (TV 視聴不可)
(初期設定状態) スwitchを操作し TV 視聴が可能になるモードです。
エンジンを始動させる度に、スイッチの操作が必要になります。



ON (下)

ONスタートモード：エンジン始動時から TV モード (TV 視聴可能)
スイッチを操作せずに最初から TV 視聴可能なモードです。
スイッチを操作すればノーマルモードにも設定可能で、
そのままノーマルモードでエンジンを切り、再びエンジンを始動させても
TV モードで起動し、TV 視聴が可能です。

Q&A

Q.---ON スタートモードに設定した場合、スイッチは接続しなくても使用可能ですか？

A.---使用できません。ON スタートモード、OFF スタートモードに関わらずスイッチは必ず接続して下さい。

Q.---走行中、DVD や Blu-ray Disc は視聴可能ですか？

A.---視聴可能です。ただし、ナビユニットに DVD や Blu-ray Disc の再生機能がある場合に限りです。

※ナビユニットに DVD や Blu-ray Disc 再生機能がある場合でも、視聴できない場合があります。詳しくは最新適合表をご覧ください。

Q.---本製品を取り付けてからパワーウィンドウなどが操作できなくなりました。故障ですか？

A.---取り付けの際、バッテリーのマイナス端子を外した事によって、車両の設定がリセットされてしまった可能性があります。
車種別取付説明書の「取り付け後の確認作業事項」をご覧ください。

Q.---製品を取り付けた状態で車検は通りますか？

A.---問題ありません。ただし、スイッチを運転の際に視界の妨げとなる位置に取り付けた場合などは除きます。

また、ディーラーや販売店などに車検や点検等を出す場合は、必ず付属のノーマル復帰コネクタを取り付けて下さい。

Q.---エンジンをかけたらチェックランプが点灯し、TV が見られませんか？

A.---DIP スwitch位置があっているか、ハーネスが抜けていないかもう一度確認して下さい。DIP スwitchの位置が車種専用の位置になっていなかったりハーネスが抜けていたりすると、車両側が異常と検知し、チェックランプなどが点灯し、走行できなくなる場合があります。取り付けの際は必ず、車種別取付説明書に記載されている車種専用の位置に DIP スwitchが設定してあるか、ハーネスがしっかりと奥まで刺さっているか確認して下さい。

※チェックランプが点灯した状態での走行は非常に危険です。チェックランプが点灯してしまった場合、速やかに車両を安全な場所へ停車させ、エンジンを切り、まずは販売店・取り付け店に相談して下さい。

Q.---TV モード (TV 視聴可能) なのに音声のみで映像が映りませんか？

A.---車種によっては、TV 視聴可能になるまでに時間がかかったり、スイッチを操作して TV モードにただけでは映像が映らない場合があります。

Q.---エンジンを切っても、スイッチの赤 LED が消えませんか。大丈夫ですか？

A.---メーカーや車種によって通信が終了する時間までが長い場合があります。詳しくは車種別取付説明書の「スイッチ操作手順」をご覧ください。※しばらくしても消えない場合は、点検または、本体を取り外しノーマル復帰コネクタを取り付けて、サポートセンターまでお問い合わせ下さい。

Q.---アイドリングストップが動作しなくなりました。故障ですか？

A.---バッテリーのマイナス端子を外したことによって、設定が初期化されてしまい、アイドリングストップが動作しなくなる場合があります。また、メーカー・車種・グレードによって初期設定の方法が異なります。(※初期設定の必要のない車種もあります。) 詳しくは車種別取付説明書をご覧ください。

Q.---バッテリーのマイナス端子を外す、または取り付ける際に注意する事はありますか？

A.---感電の恐れがありますので、水などで濡れている場合はしっかり水分をふき取り、ゴム手袋をつけるなど絶縁してから慎重に作業を行なって下さい。また、外した端子の先には、ウエスや雑巾などを巻いて、端子がバッテリーなどに直接触れないようにして下さい。

Q.---メーカーでのナビのバージョンアップや、車両の定期点検などに出す際の注意点はありますか？

A.---ナビのバージョンアップ、修理・点検、その他カーナビ以外の作業でディーラーなどの販売店に出す際は、付属のノーマル復帰コネクタを必ず取り付けて下さい。メーカー保証が受けられない場合があります。

製品についてのご相談及びお問い合わせについて

製品に関するお問い合わせ、ご連絡は電話にて下記宛にお願いいたします。

連絡先 株式会社ブリッツサポートセンター
 住所 東京都西東京市新町 4-7-6
 TEL 0422-60-2277
<http://www.blitz.co.jp/>

NCN-29

取付説明書 No. : NCN29-001

車種別取付説明書

注意記号

- 注** この表示を無視して誤って取り付けをすると、人が怪我を負う、もしくは、車及び製品の破損・故障といった物的損害の発生が想定される内容であることを示しています。
- 重** 本製品を使用する上で知っておいていただきたい事を示しています。

注 作業を行なう際は必ず、エンジンを切って5分以上経過してからバッテリーのマイナス端子を外して、取り付け作業を行なって下さい。

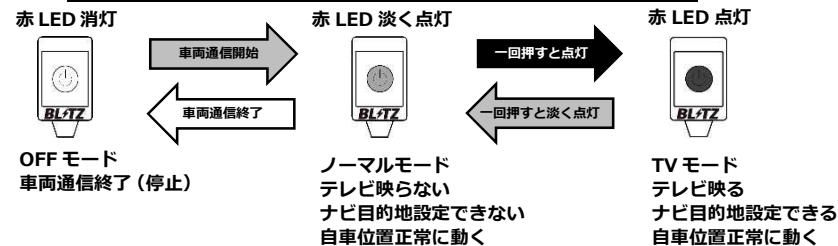
本製品は以下のメーカーオプションナビ装備車に取り付け可能です。

車種	型式	年式	システム
スカイライン (SKYLINE)	ZV37,YV37	14/06-	Nissan Connect ナビゲーションシステム
スカイラインハイブリッド (SKYLINE HYBRID)	HV37,HNV37	14/02-	Nissan Connect ナビゲーションシステム

注 スカイライン ハイブリッドの場合は、12V バッテリー（トランク内左側）のマイナス端子を外して下さい。リチウムイオンバッテリー部分（オレンジ色部分）には絶対に触れないで下さい。

※ 2015年10月20日現在

スイッチ操作手順



※コンパクトスイッチアダプターを取り付けた際のスイッチイラスト図になります。

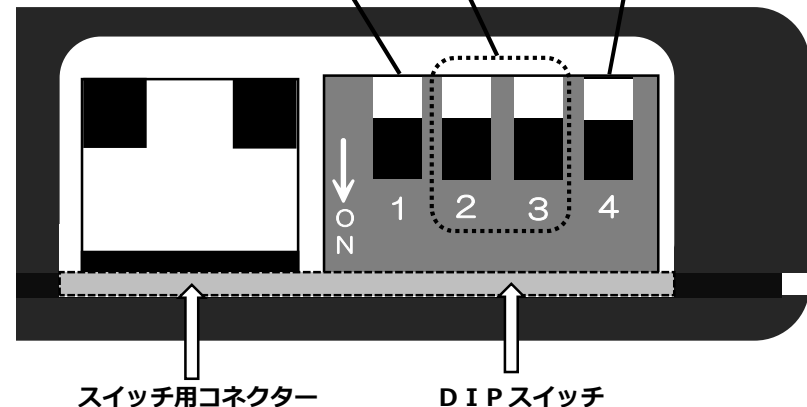
- ★ドアのロック・アンロック、ドアの開閉、イグニッションスイッチのONなど、エンジンを始動しなくても、車両の通信が始まると、OFFスタートモード設定時はスイッチの赤LEDは淡く点灯し、ONスタートモード時は赤LEDが点灯します。
- ★エンジンを停止させてドアをロックした後、数分間は通信が行われている為、すぐに赤LEDは消えませんが、数分経つと通信が終了し、本体電源が落ちた後、スイッチの赤LEDも消灯します。

注 車種によって、スイッチの赤LEDが点灯（TVモード）の時は、車速と連動して動作する機能（車速感応式ドアロック、自動カメラ切り替えなど）が働かない場合がありますが故障ではありません。

DIPスイッチ拡大図

OFFスタートモード（初期状態）・・・上に設定
ONスタートモード・・・下に設定

2, 3 共に上へ設定
上にあることを確認して下さい。



注 DIPスイッチ2,3の位置が上図のように設定されているか必ず確認してください。

- OFF (上)**
OFFスタートモード：エンジン始動時はノーマルモード（TV視聴不可）（初期設定状態）
スイッチを操作しTV視聴が可能になるモードです。
エンジンを始動させる度に、スイッチの操作が必要になります。
- ON (下)**
ONスタートモード：エンジン始動時からTVモード（TV視聴可能）
スイッチを操作せずに最初からTV視聴が可能なモードです。
スイッチを操作すればノーマルモードにも設定可能で、そのままノーマルモードでエンジンを切り、再びエンジンを始動させてもTVモードで起動し、TV視聴が可能です。

スカイライン①(14/02- HV37, HNV37, ZV37, YV37)

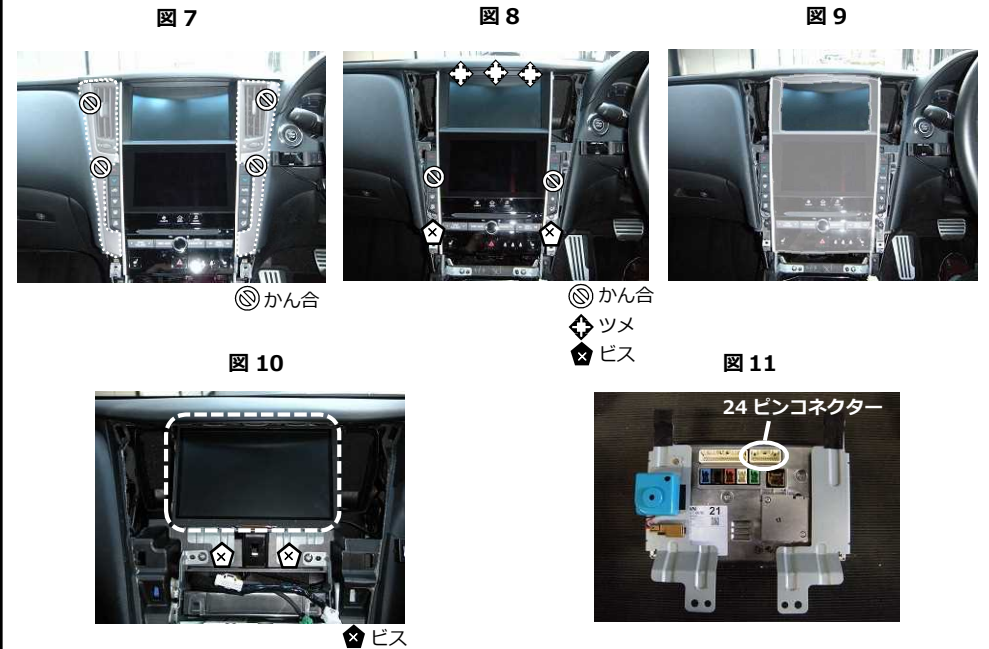
- ① セレクトレバーをNレンジにしてセレクトレバー下部のシフトブーツを下にずらすと、ロックピンがあるので、そのピンを外してセレクトレバーノブを外して下さい。(図1参照)
※この時、ニュートラル状態になっている為、車両が動く場合があります。必ず、安全な場所でサイドブレーキや輪止めなどしっかりかけてから作業を行なって下さい。
- ② 肘掛側から、車両後方斜め上の向きで持ち上げるようにして、かん合(5ヶ所)、ツメ(2ヶ所)をそれぞれ外し、左右にあるセンターコンソールサイドフィッシャーを取り外して下さい。(図2、3参照)
- ③ 肘掛側から上方向に持ち上げるようにして、かん合(8ヶ所)、ツメ(1ヶ所)をそれぞれ外し、コンソールアッパーフィニッシャーを取り外して下さい。(図4参照)
- ④ ビス(2ヶ所)を外し、肘掛側から上方向に持ち上げるようにして、かん合(6ヶ所)、コネクター類をそれぞれ外し、コンソールアッパーフィニッシャーASSYを取り外して下さい。(図5、6参照)
- ⑤ インストルメントフィニッシャー(エアコン吹き出しロー一体)を下側から持ち上げるようにして外し、上側のエアコン吹き出し口部分は手前に引き抜くようにして、かん合(2ヶ所)を外し、左右それぞれ外して下さい。(図7参照)
※インストルメントフィニッシャー下側は非常に細いので、割らないように注意してください。
- ⑥ かん合(3ヶ所)、ツメ(3ヶ所)、ビス(2ヶ所)、コネクター類をそれぞれ外し、集中スイッチパネルASSY(下画面)を取り外して下さい。(図8、9参照)
- ⑦ ユニット下側を持ち上げ下方向に引き出し、ビス(2ヶ所)、コネクター類を外し、ディスプレイコントロールユニット(上画面)を取り外して下さい。(図10参照)
※上記のディスプレイコントロールユニット(上画面)背面に本体ハーネスを割り込ませませす。

～以上でディスプレイコントロールユニットの取り外し作業は終了です。ここからは製品取付作業です。～

- ① DIPスイッチの上下位置を確認して下さい。(ディップスイッチ拡大図参照)
- ② ディスプレイコントロールユニット(上画面)背面の24ピンコネクターにハーネスを取り付け下さい。(図11参照)
- ③ 本製品本体を固定して下さい。その際、配線などが濡れて金属部分に触れていないか等を確認して下さい。
- ④ 確認作業終了後、バッテリーのマイナス端子を取り付けて下さい。
- ⑤ TV、ナビの動作確認後、問題がなければ外した部品を今と逆の手順で戻して終了になります。



スカイライン②(14/02- HV37, HNV37, ZV37, YV37)



ナビゲーション起動まで(日産 スカイライン)

～ナビ起動までの流れ～

取り付け確認作業終了後、エンジンを始動して下さい。すると、上画面・下画面にそれぞれオープニング画面が表示されます。(図 1・2 参照)

しばらくすると、上画面には地図画面が表示され、下画面にはナビ・アプリケーションシステムなどの画面が表示されます。(図 3・4 参照)

※この時、下画面破線部に図 5 の表示が出ている場合は、まだナビゲーションの起動が完了していません。(図 4、5 参照)

※この時、起動が終了していないので、スイッチ類や、ディスプレイを触っても反応しない場合があります。その後、図 6 が表示され、ナビの起動は終了になります。

※起動が終了した時は図 6 の表示も消えます。(図 7 参照)

～以上でナビ起動までの流れは終了です。～

ナビの起動が終了してから、純正ナビ取扱説明書に記載がある操作手順に従い TV 画面を起動して下さい。

図 1



上画面

図 2



下画面

図 3



上画面

図 4



下画面

図 7



下画面

図 5
アプリケーションを読み込んでいます

図 6

読み込みが完了しました

※映像が OFF になっている場合は、画面が表示されません。必ず ON にして下さい。

※屋内や山間部など電波の受信がづらい場所での使用の際は、映像が固まったりノイズや音声途切れたりする場合があります。

※走行中は電波の受信状況が悪くなる為、停車時に比べてテレビの映りが悪くなります。

※ナビのバージョン等で表示内容が一部違う場合があります。

取り付け後の確認作業事項

本製品を取り付ける際、バッテリーのマイナス端子を外す事で、場合によっては、設定がリセットされてしまい、動作しなくなる場合があります。その場合は、下記の方法、または、車両の取り扱い説明書等をお読みになり、初期設定をしておして下さい。

★パワーウィンドウ・・・各ドアのパワーウィンドウをそれぞれのスイッチで全開から全閉にし、さらに 5 秒以上スイッチを閉る方向へ操作し続けて下さい。

※パワーウィンドウの初期設定がされていない状態では、挟み込み防止機能が働かない場合があります。上記方法の初期設定をしてから、パワーウィンドウを全開にし、硬い棒などにウエスやタオルなどを巻き(車両側の保護の為)、オート、または、手で、パワーウィンドウを開めた際に、棒にウィンドウが当たり、200mm ほど降下して、停止することを確認して下さい。

★電動サン・ムーンルーフ・・・ルーフが可動できる動作をすべて行い、チルトアップボタンまたは、全開、全閉ボタンを操作し続けて下さい。

★バックガイドモニター・・・平坦な駐車場などに車を止め、バックモニターを表示させた状態で、左右両側にステアリングをすり切りまで切して下さい。

★メモリー機能・・・シート位置、ステアリング位置、ミラー位置等が、バッテリーのマイナス端子を外した際にリセットされてしまう場合があります。その際は、車両の取扱説明書をお読みの上、再度登録を行なって下さい。

※上記初期設定は、正常に動作しない場合のみ作業を行なってください。
(初期設定を行なう必要のない場合があります。)

注

※上記初期設定方法はこれら装備の初期設定の代表例です。また、12V バッテリーのマイナス端子を外した事により、まれにダイグノスティックシステム (DTC) を誤検出し、チェックランプ等が点灯する場合があります。その際は、ディーラーや販売店に入庫する必要がある場合があります。